

現行「生物・化学テロ災害時における消防機関が行う活動マニュアル」
構成変更箇所及び追加修正事項等

目次		主な追加・修正事項 (灰色部は新規追加箇所)
◎はじめに		
救助業務の高度化等分科会での検討対象等(資料3)		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 対象とする災害形態の範囲 ⇒ テロ以外のNBC災害を検討対象に追加 ○ 天然痘対処については、他での計画もあるため、一部を除き検討対象外。 ○ BCに係る事故対応については、テロ災害への対応を準用することとした。
第1編 消防本部の通信指令部署及び消防対策本部の体制(資料4-1、4-2)		
		<ul style="list-style-type: none"> ○ 通信指令部署及び消防対策本部の対応について、現行「化学テロ災害」、「生物テロ災害(粉等)」の該当部分を統合して新設 ○ 119番通報受信時、初動活動時では、原因物質や災害種別を安易に断定せず、対応を行うこととした。
第1 2編 化学テロ災害(資料5-1、5-2)		
第1章	化学災害	○化学災害を検討対象に含めたことから新設した。
第1 2章	化学テロ	
第2 3章	サリン事件等を契機とするこれまでの対応	○過去の事例を追加した。
第3 4章	化学剤	○化学剤の特性、曝露経路、毒性の強さを表す指標等を追加するとともに、化学剤の性質の表を修正した。
第4-5章	区域(ゾーン)	<ul style="list-style-type: none"> ① 初動活動時及び物質推定後の二つの区域設定の考え方を追加し、た。 ② ゾーン設定の要領に具体的数値を追加(風上から150m⇒120mへ変更) ③ 屋外・屋内で区域設定を区分
第6章	化学剤への防護	<ul style="list-style-type: none"> ① レベル別装備に防護服のインナー、防護メガネ等を追加 ② 活動隊の装備、任務、活動範囲等を整理
第5章	消防本部の通信指令部署の体制	<p>○統合移動</p> <p>第3編「生物テロ災害」第4章「消防指令室の体制」と統合し、第1編へ</p>
第6 7章	化学テロ災害の消防活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 「第1節 原因物質の推定前後のレベル別活動隊の活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 推定前後のレベルB・C隊の活動内容見直し ② 「第2節 レベル別活動隊の活動範囲イメージ図」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 推定前後のレベルB・C隊の活動内容見直し、ゾーン図修正 ③ 「第3節 消防活動の優先順位」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初動時の活動の考え方を整理し、フロー図を削除 ④ 「第4節 出動から現場到着までの留意点」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「出動から初動活動時の活動までの留意点」に範囲変更、タイトル変更 ・ 車両部署位置目安風上150m⇒120mに変更 ・ 出動途上での検知資機材の起動 ⑤ 「第5節 ホットゾーンでの活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 初動活動時のゾーン設定の目安として、図を屋外・屋内別に追加 ・ 原因物質が判明していないため、初動時は化学剤検知器、生物剤検知器、可燃性ガス測定器、放射線測定器の携帯する。 ・ 1名以上は隊員での誘導、安全管理、2名以上の隊員での担架搬送を行う旨追加 ・ ボンベ交換は、除染後、コールドゾーンでの実施とする旨追加 ⑥ 「第6節 ウォームゾーンでの活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次トリアージの実施者は消防隊員等 ・ 1次トリアージフローチャート、時間、方法を追加 ・ スタート法使用時の留意点を追加 ・ ボンベ交換は、除染後、コールドゾーンでの実施とする旨追加 ⑦ 「第7節 コールドゾーンでの活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ コールドゾーン内からの避難誘導要領追加 ・ 二次トリアージ活動整理 ⑧ 「第8節 新しいNBC車両・資機材の活用」を追加 ⑨ 「第9節 救急隊の活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急隊の活動の整理 ⇒ 救急隊員の防毒マスク着用
第7 8章	再先着隊がレベルD隊であった場合の活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動内容の確認 ・ 車内でのボンベの開放による陽圧レベル関係記述削除 ・ 異常を視認できるところまでの接近」活動の削除
第8章	現場等における各関係機関との連携	<p>○統合移動</p> <p>第3編「生物テロ災害」第6章「各関係機関との連携」と統合し、第5編新設</p>

第2 3編 生物テロ災害 <建物内で粉等の確認により119番通報等があった場合の対処> (資料6-1、6-2)

第1章	生物災害及びテロ災害	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生物災害の現実的な発生形態を説明 ○ 初動時に生物剤によるテロ災害と断定することは困難
第2章	生物剤	<ul style="list-style-type: none"> ○ 潜伏期、致死率等を整理追加 ○ 生物剤のカテゴリー分類を追加
第3章	区域(ゾーン)	<ul style="list-style-type: none"> ① 区域(ゾーニング)の設定要領に距離の入った区域図を追加した。 ② ゾーン設定の要領に具体的数値を追加(風上から150m⇒120mへ変更) ③ 屋外・屋内で区域設定を区分
第4章	生物剤への防護	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「レベル別活動隊の主な活動」中の活動隊の装備、任務等を整理 ・ レベルA隊のうち検知器保有隊と非保有隊の任務区分を分割 ・ ボンベ交換は、除染後、コールドゾーンでの実施とする旨追加 ・ 初動時のゾーン設定及び装備は、化学剤対応の同一の装備とする旨追加
第4章	消防指令室の体制	<p>○統合移動 第3編「生物テロ災害」第5章「消防指令室の体制」と統合し、第1編へ</p>
第5章	生物テロ災害時の消防活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 「第2節 出動から現場到着までの留意点」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「出動から初動時の活動までの留意点」に範囲変更、タイトル変更 ・ 化学剤対応資機材も同時準備 ・ 出動途上での検知資機材の起動 ・ 風上から50m記述⇒初動時風上・高所、風通しの良い場所120mに変更 ・ 建物内を封鎖する場合の条件限定 ・ 「悪化軽減」の情報提供部分削除 ② 「第3節 ホットゾーンでの活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 要救助者の救助活動を追加 ・ 生物剤の推定まで時間を要する場合の対応 ・ 専門家等の助言により、封鎖を実施 ・ 検体の採取の実施主体⇒警察、保健所 ・ 生物剤の簡易除染追加 ・ 除染必要時間を除いた陽圧式防護衣の活動時間表示 ③ ウォームゾーンでの活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外でのゾーン設定要領追加 ・ 除染必要時間を除いた陽圧式防護衣の活動時間表示 ④ 「第5節 コールドゾーンでの活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物内への封鎖広報に条件追加 ・ 悪化軽減広報削除 ⑤ 「第6節 救急隊の活動」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染症予防法で定める感染症患者の対応について追加 「第7節 隔離中の急病人等」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の疫学調査終了前の搬送について追加 ⑥ 「第8節 追跡調査」 <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報活動のみ記載し、リスト化等の記載を削除
第6章	各関係機関との連携	<p>○統合移動 第2編「化学災害」第4章「消防指令室の体制」と統合し、第1編へ</p>

第3編 生物テロ災害天然痘の発症者(疑い含む。)の対処⇒参考資料扱いとし、巻末資料へ

第1章	天然痘	
第2章	天然痘の発症者への対応	
第3章	天然痘への防護	○ 「第2節 化学テロ災害に伴う部隊編成の考え方(例)」について、災害態様・規模別に標準的な部隊編成、資機材数を設定
第4章	消防指令室の体制	○ 連絡先の確認
第5章	天然痘患者の搬送(移送)に伴う消防活動	○ 現場の除染 ⇒ 協力を求められた場合の対応確認

第4編 生物・化学テロ災害時の除染活動⇒**次回分科会で検討**

第1章	生物・化学テロ災害時の除染フローチャート	
第2章	曝露者の除染	
第3章	使用資機材・活動隊員等の除染	
第4章	専用の資機材のない場合の除染	
第5章	合理的な除染活動の流れ	

第5編 生物・化学テロ災害時における消防機関の活動確認帳⇒**次回分科会で検討**

	化学テロ災害時の確認事項	
	生物テロ災害(建物内で粉等の確認)時の確認事項	「緊急時応急措置指針(Emergency Response Guidebook)」等を参考に記述
	生物テロ災害(天然痘テロ発症者の対処)	

参考資料(追加)

1	緊急時応急措置指針	危険物別の隔離距離表
2	NBCテロ対処現地関係機関連携モデル	
3	生物テロ災害天然痘の発症者(疑い含む。)の対処	「第3編 生物テロ災害天然痘の発症者(疑い含む。)の対処」を移動 ⇒次回分科会で検討
4	関係機関URL	日本中毒センター、国立感染症研究所等